



みんなのえがお

あいさつ1番! えがお1番! 元気1番!

川上小学校 学校だより 第18号

2026年2月27日

文責: 校長 村山輝美



地域のみなさん ありがとう集会

26日(木)8時20分から、1年間お世話になった地域の皆さんに体育館に集まっていただき、6年生が中心になって、ありがとう集会を開催しました。入場は音楽クラブの演奏です。地域の皆さんの紹介のあと、感謝状渡しや歌「川上っ子まなざしソング」のプレゼントを行いました。

いつも子どもたちのために教育活動を支えてもらっていることに感謝の思いでいっぱいです。登下校の見守りでは、子どもたちは、私たちには見せないような、リラックスした「最高にいい笑顔」で挨拶をしたりお話をしたりしています。皆さんの見守りがあるからこそ、子どもたちは安心して、学校に通うことができます。読み語りでは、教室を静かに包み込む、心に響くお話。あのお話の時間は、子どもたちが豊かな想像力の世界へ旅に出る、かけがえのないひとときです。計算・暗唱大会では、子どもたちの緊張をほぐし、頑張りを誰よりも認めて、たくさん褒めてくださいました。「できた!」という自信の裏には、いつも皆さんの温かい励ましがありません。お米作りや芋苗植え、花植えでは、泥だらけになりながら、命を育てる知恵と喜びを教えてくださいました。皆さんの手から伝わる経験こそが、何よりの生きた教科書です。家庭科ボランティア、クラブ活動や昔遊び、クリーン作戦等々、様々な場面で子どもたちを支えて下さっています。

子どもたちがこうして元気に笑って、勉強に励むことができるのは、決して当たり前のことではありません。地域の方々が、自分の時間を使って、みんなのことを「自分の家族」のように大切に思ってくれているからです。その大きな愛に対して、心を込めて「ありがとう」を伝えました。子どもたちからは元気な歌声と手紙と感謝状のプレゼントを渡しました。子どもたちの精一杯の「ありがとう」が詰まっています。

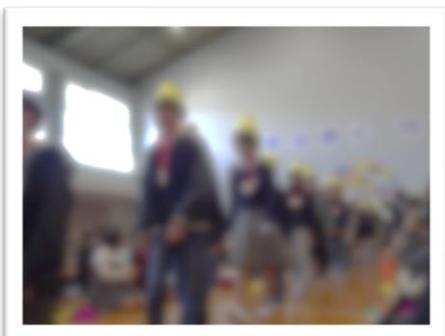
地域のみなさんは川上小学校の「大きな力」であり、「誇り」です。これからは、子どもたちの成長を一緒に見守っていただければ幸いです。

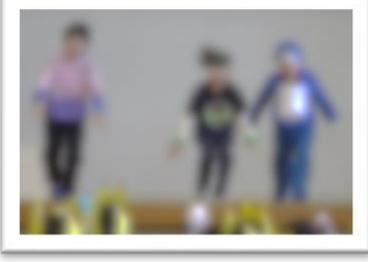
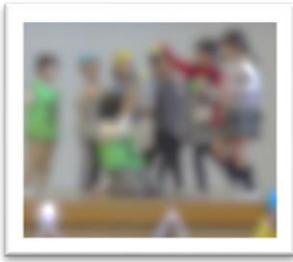
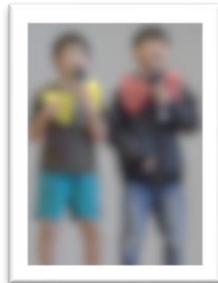


6年生 ありがとう集会

～6年生のために、自分たちにできることを～。

「地域のみなさん ありがとう集会」に引き続き、「6年生ありがとう集会」を行いました。「6年生ありがとう集会」は、出し物だけでなく、会場の隅々まで下級生たちの真心のこもった準備で溢れていました。





1年生は、6年生の胸に輝く手作りメダルを贈りました。「おめでとう」とメダルを渡す姿は、微笑ましい交流の瞬間でした。2年生は、ステージ正面に掲げられた大きな看板を担当。会場を一気に華やかにしてくれました。3年生は、感動のフィナーレを彩る全校アーチと、心に響く歌の準備。全校の心を一つにするための大切な役割を果たしました。4年生は、6年生が主役であることを象徴する王冠を作成。さらに、体育館の壁面などを丁寧に飾り付け、お祝いのムードを演出しました。5年生は、運営の柱として、入退場の生演奏を担当。花のアーチを掲げて先導する姿には、最高学年を引き継ぐ頼もしさが漲っていました。各学年の出し物も工夫を凝らし、一生懸命ステージで発表する姿は生き生きしていました。

各学年の趣向を凝らした出し物の後、いよいよ6年生の登場です。6年生は、6年間の歩みを劇で表現しました。初めて登校したあの日、泥んこになって取り組んだ4年生のお米作り、道に迷いながら協力することの大切さを学んだ修学旅行……。ユーモアを交えつつも、一つ一つの場面に込められた成長の跡に、会場からは笑いと拍手が沸き起こりました。そして最後、体育館に響き渡ったのは合唱「旅立ちの日に」。最高学年としての誇りと支えてくれたすべての人への感謝をのせた歌声は、下級生たちの心に深く刻まれました。退場時には全校児童によるアーチをくぐり、6年生は晴れやかな表情で次の一步を踏み出しました。

運動会やおおば活動、委員会や清掃の時間。6年生が

さりげなく差し伸べた手が、下級生たちの「自分もあんな風になりたい」という目標になりました。6年生の一生懸命に取り組む背中が、この学校の「当たり前」のレベルをグッと引き上げてくれました。6年生のみなさん、卒業まで残りわずかです。川上小学校で過ごす一日一日を、大切に刻んで欲しいと思います。

久光スプリングス バレーボール教室



18日、久光スプリングスから5名の方が来校し、6年生に向けてバレーボール教室が開催されました。4時間目は、元日本代表のキャプテンでもある岩坂名奈さんからバレーボールとの出会いや学んだことの講演を聞き、午後からは「久光スプリングス U15」の監督である久保山尚さんも一緒にバレーボールの指導をしてもらいました。

アンダーパスやオーバーパス、サーブ、アタックの打ち方を教えてもらいました。久保山さんのジャンプサーブを受けるチャレンジもあり、楽しくバレーボールを学ぶことができました。

